

外国人材の現在の入国状況

－外国人介護人材入国再開で出てきた課題とその対応策－

●令和4年3月末現在（最新の数字、本年3月以降の入国制限緩和の入国はほとんど含まれてない）

【第1表】主な国籍・地域別 特定産業分野別 特定技能1号在留外国人数

（令和4年3月末現在）

国籍・地域	総数	介護分野	ビルクリーニング分野	素形・材料産業分野	産業機械製造分野	電気・電子情報関連産業分野	建設分野	造船・船舶工業分野	自動車整備分野	航空分野	宿泊分野	農業分野	漁業分野	飲食物品製造分野	外食分野
総数	64,730	7,019	839	3,928	6,021	3,258	6,360	1,971	986	49	124	8,153	718	22,992	2,312
ベトナム	40,696	3,445	521	2,513	3,834	2,319	4,547	359	480	15	44	3,830	177	17,129	1,483
フィリピン	6,251	698	96	335	778	328	601	1,125	407	2	3	891	9	950	28
インドネシア	5,855	981	67	492	820	167	370	140	14	0	12	1,284	494	970	44
中国	4,546	391	12	260	369	217	406	286	7	2	7	742	38	1,608	201
ミャンマー	2,944	647	75	56	45	113	113	10	49	0	12	162	0	1,514	148
タイ	1,339	28	4	246	130	88	88	48	2	0	1	317	0	365	22
カンボジア	1,298	59	28	13	14	2	141	3	5	0	0	741	0	289	3
ネパール	855	518	19	0	1	0	38	0	4	14	25	61	0	55	120
その他	946	252	17	13	30	24	56	0	18	16	20	125	0	112	263

注）本表の数値は速報値である。

●令和2年3月末現在（2年前の数字）

【第1表】主な国籍・地域別 特定産業分野別 特定技能1号在留外国人数

（令和2年3月末現在）

国籍・地域	総数	介護分野	ビルクリーニング分野	素形・材料産業分野	産業機械製造分野	電気・電子情報関連産業分野	建設分野	造船・船舶工業分野	自動車整備分野	航空分野	宿泊分野	農業分野	漁業分野	飲食物品製造分野	外食分野
総数	3,987	56	27	437	428	184	267	156	37	-	19	686	42	1,402	246
ベトナム	2,316	3	19	207	231	113	200	24	6	-	7	304	23	1,042	137
インドネシア	456	26	-	78	113	9	16	40	-	-	3	88	16	64	3
中国	331	3	-	61	36	21	29	29	-	-	3	65	3	57	24
フィリピン	235	24	-	29	19	17	7	48	29	-	2	34	-	24	2
ミャンマー	216	-	-	10	7	12	3	2	2	-	1	15	-	156	8
カンボジア	198	-	7	2	1	1	5	-	-	-	-	146	-	36	-
タイ	125	-	1	46	20	11	6	13	-	-	-	14	-	10	4
ネパール	25	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	11	-	-	13
その他	85	-	-	4	1	-	-	-	-	-	3	9	-	13	55

注）本表の数値は速報値である。

本年3月以降の入国状況の一例

- ・GTN社 特定技能介護者 約50人入国
フィリピン、インドネシア、ネパール
- ・A社 特定技能介護者 約80人入国
フィリピン、インドネシア
- ・B社 特定技能介護者 約300人入国
ミャンマー、カンボジア、フィリピン
- ・C社 技能実習介護者 約250人入国
ミャンマー
- ・D社 技能実習介護者 約50人入国
フィリピン

上記の各社は、コロナ禍前2019年、コロナ渦中2020年に内定が決まっている候補者が多く、最大2年以上待機した後の入国となっている。

課題と対応策

【現状・課題①】

モデルナ、ファイザー以外のワクチン接種をしている場合、例えば3日間の待機期間を求められるケースあり。費用と日数が高むことになっている。

【対応策・結果など】

GTN社の場合は、海外候補者に対し、モデルナ、ファイザーを推奨したため特に問題なし。日本政府が推奨するワクチン接種を送出し機関に伝えることで負担は軽減する。

【現状・課題②】

フィリピンのPOLO(フィリピン海外労働事務所)東京の労働アタッシェの審査が厳しく、東日本エリアでは、受入企業の不承認が相次ぎフィリピン人特定技能介護人材は採用が伸びなかった。POLO大阪は、審査基準が東京と比較して幅があり、承認数が多く採用が進んだ。

【対応策・見込みなど】

フィリピン人材については西日本エリアを中心に紹介が進んだ。本年6月にPOLO東京の労働アタッシェが交代。POLO大阪同様の審査基準になることが想定されている。

【現状・課題③】

コロナ禍で介護施設においても採用活動が停滞、外国でもロックダウンなどの影響で、人材募集・採用面接が進まなかったため、しばらくはまとまった入国が見込まれるが、その後介護人材の入国は停滞する見込み。

【対応策・見込みなど】

コロナ禍の影響が減少するなかで、日本側での採用活動、海外での募集活動も再開する見込み。

株式会社グローバルトラストネットワークス 高橋恵介